

別記 提案書評価基準

評価項目		採点 a	加重 評価b	配点 a×b	評価基準(着眼点)	評価(審査)に係る提出書類	
I 業務実績等	1 類似業務実績	最高 5点	—	5点	令和5年度以降における官公庁等への「アンコンシャス・バイアス」及びその他関連テーマに関する研修実施実績数に応じて加点。 ①1件：3点、②2件：4点、③3件以上：5点。	企画提案書(任意様式)その他提案説明書に記載の書類	
	2 企画競争受注実績	最高 5点	—	5点	令和5年度以降における官公庁の調達において、企画競争の結果により受注した実績数に応じて加点。 ①1件：3点、②2件：4点、③3件以上：5点。		
	履行実績等計	10 点		10点			
II 企画提案	1 業務内容の理解度・方針(5段階評価)	最高 10点	—	10点	研修の目的及び「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」の理念を正しく理解し、これに沿った適切な基本方針が示されているか。		【5段階評価】 特に優れている・・・10点 優れている・・・8点 普通・・・6点 やや不十分・・・4点 不十分・・・2点
	2 講師の専門性・指導力(5段階評価) (※1 選定に係る特定評価項目)	最高 10点	×2倍	20点	講師が、具体的な業務実施や市民対応の場を踏まえた指導ができる専門性、過去の実績、及び受講者の意欲を引き出す高い指導力・ファンリレーション能力を有しているか。		
	3 具体的なカリキュラム・手法(5段階評価) (※1 選定に係る特定評価項目)	最高 10点	×3倍	30点	受講者の「気づき」から「対処法」の理解、「業務への活用」に繋がるよう、基礎編(肯定的理解)と応用編(行動変容)の目的に即した具体的なカリキュラムや研修手法(意見交換・グループワーク等)が設計されているか。		
	4 資料作成・実施体制(5段階評価)	最高 10点	×1.5倍	15点	見やすさ、使いやすさに配慮した資料作成の方針が示されているか。また、業務を確実かつ円滑に履行できる実施体制(予定していた講師が急遽登壇できなくなった場合など)・スケジュールが整っているか。		
	5 アンケート項目・独自提案(5段階評価)	最高 10点	—	10点	アンケートの必須項目に加えて、研修効果を的確に測定するための独自の質問設計がなされているか。また、本業務の成果をより効果的なものにする独自の工夫や付加価値が認められるか。		
	6 積算額	5 点	—	5点	確実に業務を履行できるよう適正に積算しているか。		
企画提案内容計		55 点	—	90点			・参考見積書(任意様式)
委員1人当たりの配点合計(A)				100点			
委員7人(※2)による総配点数(A×7人)				700点	〔最低基準評価点420点(総配点数の6割)〕		

※1 「選定に係る特定評価項目」は、契約候補者となるべき評価点の同じの者が2名以上いる場合に、候補者の選定にあたり評価点の合算値をもって優越を比較する項目を示す。

※2 審査(評価)事務を円滑にかつ早期に審議する目的から、評価点の満点等にあつては、評価に携わった実際の委員(出席者)数によって変動する場合がある。